



歴史の里 しだみ古墳群

今から1700年前、名古屋市守山区上志段味は市内最高峰の東谷山があり、庄内川の河川交通と陸路がまじわる交通の要所でした。その土地を治めた王は、ヤマト王権と連携して最初の王となりました。その最初の王の墓がつくられたのち東谷山周辺は特別な地となり、古墳は400年間つくられ続けました。



はじまりの古墳「白鳥塚古墳」

最初の王は、尾張ではじめての大型前方後円墳をつくりました。古墳の上には石英がまかれ、白くキラキラ輝いていたと考えられています。



東谷山上の古墳

名古屋市で最も高い東谷山(標高198m)の尾根上には三つの古墳が築かれ、中社古墳の上には、尾張では最古の埴輪が並べられました。



東谷山山頂の古墳の上には尾張戸神社がつくられ、今に続いています。



河岸段丘上の古墳

1550年前には、ヤマト王権と連携した先進的な王たちが、特別な地である上志段味の河岸段丘上に帆立貝式古墳をつくりました。



尾張の古墳造営の最盛期

勝手塚古墳がつくられた1500年前、尾張では大型古墳が多くつくられ、現在の名古屋市守山区に県内最大の前方後円墳の断夫山古墳がつくられました。



東谷山麓の群集墳

1400年前になると、より地位の低い人たちも古墳を築くことができるようになりました。その後、古墳はつくられなくなります。

志段味古墳群の概要

名古屋市守山区上志段味には、名古屋市全体の1/3にあたる66基の古墳が確認されています。そのうち、白鳥塚古墳・尾張戸神社古墳・中社古墳・南社古墳・志段味大塚古墳・勝手塚古墳・東谷山白鳥古墳の7基の古墳は、平成26年に志段味古墳群として国の史跡に指定されています。



体感! しだみ古墳群ミュージアム

しだみ古墳群の「しだみ(SHIDAMI)」とミュージアムの「みゅー(MU)」で「SHIDAMU(しだみゅー)」とよんでね!

SHIDAMU(しだみゅー)が目指すのは、古墳時代を体感して、「歴史を知りたい」を引き出すこと!

歴史の里しだみ古墳群では、1700年前から残された古墳を自然地形とともに保存することを目指しています。だれもが古墳は知っていますが、実際に見に行くことは少ないかもしれません。SHIDAMU(しだみゅー)では、体感を通して「古墳に行きたい」や「古墳時代を知りたい」を増やし、「歴史を知りたい」を引き出します。

平成31年
3月末
オープン
(予定)



施設概要

- 延床面積 / 1,560m²
- 主な居室 / 展示室・収蔵庫・体験活動室・カフェレストラン・こどもこふんなど
- 入館料 / 無料(展示室のみ有料200円)
- 駐車場 / 普通車101台、大型バス4台(イベント時のみ有料300円)
- こども連れも安心・充実
- トイレ / オストメイト対応多機能トイレ(1階)
小児用小便器(2階女子)、ベビーチェア(各階)
赤ちゃん室 / おむつ交換台、授乳用椅子

施設外観